

福島県PTA連合会会報
第19号_S60.02.25



＜岩瀬＞ 健全育成のための地域活動

須賀川市立阿武隈小学校PTA

PTA活動を大きく分けて、校外指導、学校行事への協力、奉仕活動、会員の親睦と教養の四つに分けられる。この中で校外指導活動は、文部省指定の「体力づくり推進研究」を機会に各事業計画について見直しを行なった。事業計画策定に当たっては、各地区（八地区）各家庭に反映し、地区活動が活発になるよう改善を図った。特に、体力づくりを主体とした運動、

ゲーム等を取り入れ、家族あげて実行するように努めた。また、地区委員会では「愛の一声運動」を提唱し、体力づくりと合わせて、地区内の生活指導等に当たるようにした。そして、地区委員は本会の毛細管的働きで、各家庭との連絡協調一体化をはかり、健全な児童の育成に努めている。

- 地区委員会の活動は異なるが、体力づくりを中心に生活指導、危険防止、地区会員の親睦を図っている。
- 親子体力づくり（なわとび、地区運動会）
- 早起き歩こう会（年四回実施）
- 早朝マラソン
- 親子球技大会
- 親子水泳教室
- サイクリング（自転車安全点検）
- 写生会・凧づくり
- 地区対抗球技大会

- いも煮会
- 町内清掃
- バザー
- 危険箇所点検、補修
- 地区懇談会
- 愛の一声運動

特に、今年度の「全行歩こう会」は、教養委員会とタイアップして、学区内の史跡、石仏、石碑等を訪ね路傍の歴史、文化財の認識を深めた。また、恒例のバザーは、出品物の集荷、展示、販売に当り売上げ年々上昇し、貴重な財源を確保している。本会が二度も県P表彰を受け、全国PTA表彰の栄誉に浴したの、十年前まで純農村の江持小学校から阿武隈小学校発足により、30%の農家と70%の都市部会員が、文部省指定の研究を契機に先輩地区委員の昼夜にわたる話し合いにより、会員の融和協調に努力した賜が今日のPTA活動を恒久的にしたのである。

特色あるPTA活動

＜田村＞ 子を想う親と教師の熱意 快速列車を停める

三春町立三春中学校PTA

冬期間は部活動が終わって五時に学校が閉まる。舞木駅からの三春中列車通学生の帰りの列車は六時半：一時間半もの空白時間帯が、土曜日を除いて毎日ある。郡山へ帰る高校生や大人たちは、五時半の快速列車の暖い灯の中へ吸い込まれてゆくのに……あの快速列車が舞木駅に停まってくれたら……！

早く家に帰れたら、家の手伝いも勉強も、家族揃っての食事もだんらんも出来るのに……！

冬期間快速列車の舞木駅臨時停車を実現しました。PTAと地元の記念祝賀式は新聞・TVで大きく報じられ、さらに通年停車の実現運動の結果、新幹線上野駅乗り入れに合わせた新ダイヤで、快速列車を廃止して、

三春駅発 3月14日より

53	14
49	15
20	17
42	17
51	18

各時間帯をカバーする列車ダイヤを確保しました。

国鉄さんありがとうございます。快速列車通学生ガレバレ……！

で三春中学校PTAの最大の課題は列車通学生のために舞木駅に快速列車を停めることでした。

仙台鉄道管理局へ陳情
PTA総会で臨時停車実現推進を決議

郡山運輸長室へ陳情
遠藤・横山会長以下PTA役員・校長以下教職員、町長・教育長以下町当局、列車通学生の骨身を惜しまぬ実現運動が実を結び

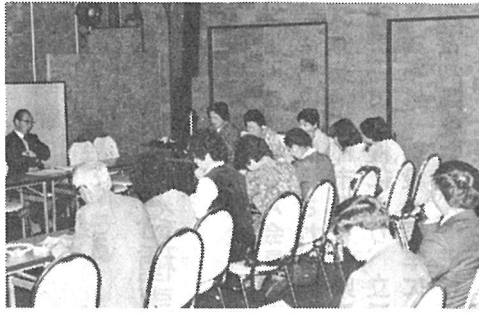
59年2月1日
59年3月31日
59年10月1日
60年3月13日

三校PTA交歓会と座談会

会津若松市立第一中学校PTA

〈若松〉

学校と家庭と社会との関係を密にし、生徒の健全な育成をはかる目的のため、わがPTAには、各学年委員会と五部門の専門委員会（総務委員会、厚生委員会、家庭校外委員会、施設委員会、教養委員会）がある。



(楽しく語り合う座談会)

各学年の委員は、前記の専門委員会のいずれかに所属する。各専門委員会は、それぞれの部門での活動に際しては、担当以外の委員にも協力要請

があり、常に進んで協力する。このような特色を自慢できることは、すばらしいことと思う。

1. 三校PTA交歓会の開催
本校学区内にある城北小と行仁小との連携を保持し、諸問題について意見や情報を交換することを目的としている。

会では、補導・非行防止対策や、学区内の環境整備など、それぞれの体験にもとづいた意見の交換があり、大変有益な会合である。ふだん顔を合

わせることのない人々が一堂に会し、違った角度で語り合うので、運営次第でよい効果があげられる。今年で十三年になるが、民謡体操教室、映画会ののち、映画を通しての子どもの問題の討議、講習会、研修会、講演等多彩にわたって開催されてきた。

本年は、内容のマンネリ化を打破するために、各校の常任委員全員が参集し、市教委の先生方からご指導をいただき、研修したことがらを生かしさらに充実した交歓会にしていくことを考えている。

特色あるPTA活動

〈相馬〉

全員参加のPTA活動

原町市立原町第三小学校PTA

日P会長表彰祝賀式における会長挨拶から「原三小は昭和四十六年に創立され、同時にPTAの発足を見た。

創立十三年という浅い歴史が故に伝統を創造し築こうと父母と教師が一致協力して取り組み、学校教育と社会教育が一体となつた学校運営を求め、児童の健全育成にむけて活動してきた。……」

この挨拶の趣旨からも扱みとれる通り、話し合いの場をもつた全会員参加のPTA活動をめざし、各専門委員会を、横の連携を密にしながらかつて活動を進めている。



(にぎわう文化祭風景)

①教養委員会11月一回の家庭教育学級に積極的に参加、講演や他校視察そ

して、方部対抗球技大会学級対抗球技大会を開き市連P球技大会にも常によい成績をおさめている
③補導委員会11各方部毎に日常の補導活動を進め
④環境委員会11奉仕作業を通じて学校敷地の美化に協力すると共に、本会
⑤学年委員会11学年、学級懇談、親子集会を開催し、学校教育や児童理解
⑥広報委員会11PTA活動に関する情報を的確に伝え、会員の生の声を収集し、会発展の原動力としての会報「あゆみ」は第五七号がまもなく発行される。他に速報がその都度出され、会員の目、耳となっている。

福島県PTA安全互助会

創設十周年を祝う

各種事業有意義に終わる

福島県PTA安全互助会は、県連Pの一事業として、幼稚園・小・中学校の学童・及びPTA会員の安全と補償制度の確立を願って、昭和四十九年六月総会において決議され、同年七月一日より事業開始、その後先輩各位の絶ゆまぬ努力と、各都市連Pと県連Pとの緊密な連絡のもとに、そして単位PTAのご理解とご支援により、立派に成長してきた。

本年は、創設十周年にあたり、本会の歩みを顧みるとともに、先輩各位の足跡と功績をたたえ、そして、今後一層の発展を期するために、各種の事業を実施し、有意義に終了した。

記念式典

厳粛に挙行される

去る昭和五十九年十二月三日午後一時より、県青少年会館大会議室において、県教育長をはじめ、多数の来賓をお迎えし、八十数名のご臨席をいただき、壇上に日の丸・県連Pの旗を掲揚、松飾り一きわ鮮やかな式場において、厳粛に記念式典が挙行された。

式典は、県連P立花事務局長進行役となり、吉田俊夫副会長長開式のことば、君が代斉唱、そして、この十年間の学童の事故

死一九〇数名の霊に黙禱を捧げたあと、国井庄八会長の式辞、ついで、創設後安全互助会発表に功労のあつた歴代会長ら九人への感謝状贈呈、事故防止ポスター・習字の入賞者代表の表彰のあと、県教育長・県小・中学校長会会長・歴代会長代表の祝辞、来賓紹介・祝電披露・吉田稔充副会長閉式のことばを最後に締めくくられた。



(記念式典風景)

感謝状

贈呈者

- 渡部 英治氏 (元県連P会長)
- 石川 義一氏 (元県連P会長)
- 菅野 久俊 (元県連P会長)
- 阿部 光寿氏 (前県連P会長)
- 大越源三郎氏 (元県連P事務局長)
- 渋谷靖十郎氏 (元県連P事務局長)
- 永沢電四郎氏 (前県連P事務局長)
- 千葉 昇氏 (前県連P事務局長)
- 行徳 克己氏 (共栄火災取締役社長)

記念誌 10年の歩み 刊行

十年を一つのふし目として、本会が創設するまで、また、創設後の経緯を顧み、今後の充実と発展を期するために、記念誌「十年の歩み」を刊行

した。

編集内容は、県教育長・県小中学校長会長・歴代会長各位の祝辞、励ましのことば、また安全教育と補償制度を考える。安全互助会に関する体験記等、貴重な玉稿をいただき、掲載されている。(各単Pへ配布)

創設十周年記念 子どもの災害事故防止

ポスター・習字展

県PTA安全互助会創設以来十年間に、学童の事故死亡数は、百九十名に達する尊い命を失っていることは、まことに悲しい、いたましいことである。本年度も十か月間に十六名にもなり、本会としても深く憂慮しているところである。

◆ポスター
「小学校の部」

◆最優秀賞
遠藤貴之 (山上小一年)
船若 大 (同一年)
佐藤美和 (同一年)
優秀賞
渡辺のり子 (山上小二年)
高玉一枝 (同二年)
高橋千香子 (同五年)
安林志保 (同六年)
田崎徹哉 (猪苗代小六年)



◇優良賞

- 佐藤美加 (山上小二年)
- 安倍多恵 (同 三年)
- 原澤佳江 (同)
- 穴沢洋幸 (猪苗代小五年)
- 鈴木潤哉 (同 六年)

◇佳作

- 鈴木勝彦 (山上小一年)
- 板澤 守 (同 一年)
- 白田奈々 (同 二年)
- 山口ひろみ (同 三年)
- 吉田良成 (刈野小四年)
- 田村玲子 (同 四年)
- 佐藤 学 (猪苗代小五年)
- 佐藤尚子 (山上小五年)
- 丹野智加枝 (岡山小五年)
- 江井宏之 (大田小六年)
- 十文字直哉 (柴宮小六年)
- 伊藤 誠 (双葉南小)

「中学校の部」

◇優秀賞

- 菅野真引 (渡利中二年)
- 優良賞
- 木村朋子 (平一中二年)
- 横山成子 (同 二年)

◇佳作

- 緑川式子 (平一中二年)
- 志賀純子 (同 二年)
- 森合 崇 (渡利中二年)
- 土屋笑子 (中村中三年)

◆習字

「小学校の部」

◇最優秀賞

最優秀賞 おのともや
(伊達東小 一年)



◇優秀賞

- 坂本ひろみ (小名浜東小一年)
- 鈴木しゅん子 (平二小一年)
- 高橋たかゆき (大波小一年)
- 平田悦子 (富岡二小一年)
- 国分涼子 (桃見台小一年)
- とみたななえ (伊達東小二年)
- 齋藤徳富 (大波小三年)
- 佐藤寿子 (富岡二小二年)
- 草野慶子 (平二小三年)
- 遠藤由香 (笹谷小三年)
- 村上加奈 (中郷小三年)
- 栗原郁子 (大波小四年)
- 石川 慶 (富岡二小四年)
- 平松かな子 (平二小四年)
- 中村尚子 (笹谷小四年)
- 縦山貴一 (平野小四年)
- 佐藤貴司 (大波小五年)
- 紺野真紀 (桃見台小五年)

- 神野雅弘 (富岡二小五年)
- 大塚 薫 (平二小五年)
- 木戸浩子 (清水小五年)
- 有馬友規 (大波小六年)
- 大谷昌子 (平二小六年)
- 杉下春海 (同 六年)
- 宍戸陽子 (平野小六年)
- 紺野陽子 (笹谷小六年)

◇優良賞

- まつらななみ (伊達東小一年)
- 春木みち子 (富岡二小一年)
- 川さき幸子 (平二小一年)
- しがひろき (熊町小一年)
- 成田聡志 (本宮小一年)
- 本間倫治 (平二小二年)
- 猪狩厚美 (熊町小二年)
- につとともゆき (笹谷小二年)
- 大橋光一 (大波小二年)
- 遠藤加奈子 (原町一小三年)
- 三浦 潤 (笹谷小三年)
- 芳賀美由紀 (富岡二小三年)
- 岡崎賢治 (大波小三年)
- 陳野奈採 (小田川小四年)
- 阿部親子 (清水小四年)
- 猪狩和子 (富岡二小四年)
- 佐藤智子 (平二小四年)
- 齋藤貴子 (笹谷小四年)
- 小野康治 (大波小四年)
- 渡辺幸子 (柴宮小五年)
- 高田 潤 (平野小五年)
- 石川 悟 (笹谷小五年)
- 佐々木教子 (熊町小五年)
- 佐藤秀一 (大波小五年)
- 竹内幸子 (平二小五年)
- 佐藤恵子 (平野小六年)
- 紺野順子 (同 六年)



最優秀賞 二階堂文裕
(大波小 二年)

- 伊藤裕美 (大波小六年)
- 土井幹夫 (柴宮小六年)
- 宮嶋栄子 (富岡二小六年)
- 金田佳子 (平二小六年)
- 池崎あつ子 (双葉南小一年)
- にしなお子 (大田小一年)
- 高橋のぶえ (湯本一小一年)
- 大橋みほ (笹谷小一年)
- 栗原たかし (大波小一年)
- 荒木たかし (桃見台小一年)
- 新田のりゆき (柴宮小一年)
- 大越みき (小田川小一年)
- 丹野弘道 (小名浜東小二年)
- 齋藤こうへい (双葉南小二年)
- 村上まゆみ (中郷小二年)
- 金山えつ子 (小田川小二年)
- 泉田みのる (柴宮小二年)
- 作田ひろみ (本宮小二年)
- 村上秋絵 (清水小二年)
- 愛沢智美 (双葉南小三年)
- 永岡睦美 (熊町小三年)
- 国井幸司 (小名浜東小三年)
- 高田亜紀 (太田小三年)
- 藤田ゆかり (小田川小三年)
- 遠藤寛枝 (五百川小三年)

- 佐藤朋且 (塩沢小三年)
- 金子陸未 (伊達東小三年)
- 安田孝裕 (余目小三年)
- 八巻利彦 (清水小三年)
- 佐藤絵美 (桃見台小三年)
- 丹野文剛 (小名浜東小四年)
- 渡辺広子 (熊町小四年)
- 白井秀徳 (永井野小四年)
- 中嶋ミキ (藤川小四年)
- 新田 勝 (中郷小四年)
- 富塚絹枝 (安積二小四年)
- 半谷秀一 (双葉南小四年)
- 桑島 章 (本宮小四年)
- 三浦 薫 (上太田小四年)
- 佐々木久美子 (伊達東小四年)
- 齋藤美香 (大波小四年)
- 佐久間美穂 (余目小四年)
- 阿部健一 (平野小四年)
- 曳地絵里子 (原町一小五年)
- 佐々木敦子 (熊町小五年)
- 尾形憲一 (平二小五年)
- 佐々木修一 (小名浜東小五年)
- 室井友紀 (永井野小五年)
- 鈴木淳子 (小田川小五年)
- 高橋 宏 (小山田小五年)
- 齋藤利恵 (本宮小五年)
- 遠藤慎治 (五百川小五年)
- 中村美智子 (余目小五年)
- 菅野恵美子 (大波小五年)
- 永井千晶 (平野小五年)
- 佐藤康浩 (笹谷小五年)
- 木幡吉成 (大田小六年)
- 西村測子 (富岡二小六年)
- 木下知美 (熊町小六年)
- 増戸貴弘 (小名浜東小六年)
- 門馬丈裕 (湯本一小六年)

「中学校の部」

◇最優秀賞

- 森谷亜紀子 (郡山三中一年)

◇優秀賞

- 末永淳子 (郡山三中一年)
- 渡辺多佳子 (内郷二中一年)
- 西塚直子 (内郷二中三年)
- 猪狩直人 (楡葉中三年)
- 遠藤智子 (同 三年)

◇優良賞

- 半沢浩子 (内郷二中一年)
- 大森美和 (白沢中一年)
- 渡辺昌幸 (二本松一中一年)
- 小野雅代 (楡葉中一年)
- 薄井由香 (内郷二中二年)
- 酒主秀寛 (楡葉中二年)
- 酒主留美 (同 三年)
- 会田愛子 (小平中三年)

◇佳作

- 伊藤真美子 (二本松一中一年)
- 齋藤貴子 (同 一年)
- 石川由美 (同 一年)
- 久保木純子 (小平中一年)
- 菅原亜紀 (内郷二中一年)
- 塩谷卓夫 (郡山三中二年)
- 三瓶昭男 (同 二年)
- 新妻道子 (楡葉中二年)
- 関根美香 (小平中二年)

「二十一世紀に生きるたくましい子どもを育てるために」

第十六回東北PTA研究大会
秋田市で開催される。

第十六回東北PTA研究大会は、去る十一月九日・十日の両日秋田市で開催された。各県から千八百余人の参加者を迎えて、秋田市中心会館を中心会場とし、「二十一世紀に生きるたくましい子どもを育てるために家庭・学校・地域の連携をいっそう深めよう」の主題のもとに討議が展開された。(本県からは61名が参加)

この大会を祝したかの 鷲佳弘氏が代表して表彰のように例年よりは暖かい天候に恵まれ、会場は見事な菊の懸崖が壇上を飾り、遠来からの参加者を快く迎えてくれた。

◆分科会

午後から各会場に別れて、分科会開催、第一組

◆開会行事

渡辺宮城県連P会長開会宣言、石井に東北P連会長・樋田耕平日P会長・秋田県教委教育長のあいさつに続き、佐々木秋田県知事の祝辞・高田秋田市長からは歓迎のことばをいただき、その後、感謝状及び表彰状の贈呈があった。本県は、一頁掲載の五団体・七個人が表彰され、前県連P理事

て、分科会開催、第一組組織強化と運営、第二家庭生活と子ども、第三健全育成と地域活動、第四PTAと生涯教育、第五家庭と学校のテーマに基づき、提言者から事例発表があり、テーマに従い討議された。今大会に本県から、第一分科会司会者副会長大谷恒雄氏、第二分科会助言者福島大学助教河野義章氏、第三分科会助言者会長国井庄八氏が活躍された。

また提言者として、本県を代表して南会津郡南郷第一小学校PTA会長月田和行氏が発表・参加者から、専門委員会の活動内容について賞賛を受けた。



◆記念講演

二日目午前九時より全体会に入り、各分科会の報告後、五項目の大会宣言が満場一致決議され、その後、「育てる楽しさ、むずかしさ」と題して記念講演があった。講師は、地元出身の小野清子氏(財・日本スポーツクラブ協会理事)である。氏は今五人の子育てまつ最中、ロスアンゼルスオリンピックでの裏話など折りまぜて聴衆を魅了した。

昨年十一月、福島県青少年会館において開かれた臨教審地方公聴会に、PTAを代表して意見を述べた機会を得た。校内暴力、家庭内暴力など青少年非行の問題、入試制度の問題等に端を発した教育改革論が臨時教育審議会の発足をみ、教育はこのままいいのかと、さまざま議論がなされている。



母親として考える教育への願い

臨教審地方公聴会に参加して

川俣小PTA会長 水口ミキ

新しい問題が新聞等をにざわして、関心をそえられるところであるが審議経過を見ても、二十一世紀社会の展望と教育需要、教育目標の検討から義務教育、生涯教育男女差別、学歴社会の諸問題、入試制度など多岐にわたって、各部会において審議されている。教育の具体的問題についても、有名校重視など学歴偏重の是正、教育荒廃と社会状況の関連、非行、登校拒否の背景としての乳幼児期の親子関係教育に対する父母の考え方など、社会・家庭の教

育機能、マスコミをはじめとする社会風潮が子どもに与える悪影響への対応等々、現在の教育を多方面から洗い直そうとする姿勢がうち出されている。私は、母親として常々考えている身近な問題具体例をもつて臨んだ。先に書いた通り、学識者が多方面から論議を重ね、方向を見出しつつあるとき、一母親の願いがどれだけの意味をもつものか疑問もあつたが、現場の声を大切にしたい。との公聴会の趣旨を考えると、身近かな提言をした。一つは、勤労体験の必要性。勤労の尊さ、金銭の価値感覚は、理論だけでは体得できないのではないかと。二つには、高校受験と教育費の問題。小学生時代から学習塾に通わないと、点教主義、偏差値教育について行けない現状に、本音と建まえの間で

ゆれ動く親の心情をわかっている。三つに、小学校における学習量の精選と基礎学力の重視。郡山二中の吉成教諭の提言の中にも「基礎学力の低い生徒が約二割もおり、指導上困難な点があると指摘されていたが一考を要する点」と思う。更に、物質に満たされた豊かな社会、家庭生活の中で、大低のことはお金で解決できる風潮は、心の豊かな人間を育てるのだろうか。親自身の生き方が問われるものだが、就労婦人が増大している今、企業内教育、母親教育の充実を図るためにも生涯教育の体系づくりを急いで欲しい、と提言した。教育は授けられるものという観念があるが、自ら学ぶものだという視点に立って、今後はPTA活動の中で教育問題を語りあい、あくまでも子ども達のための教育改革であるように、その方向を見つけて行きたいと思う。

表1. 保険金(補償額)の支払い額と会費について

	学 童		父 母 ・ 教 師
	I型加入の場合	II型加入の場合	
死 亡	60万円	40万円	300万円
入 院	治療1日につき 780円	治療1日につき 580円	治療1日につき 3,000円
通 院	治療1日につき 520円	治療1日につき 380円	治療1日につき 2,000円
後遺障害	障害の程度により 18,000円~60万円	障害の程度により 12,000円~40万円	障害の程度により 9万円~300万円
会 費	年 1名あたり 410円	年 1名あたり 295円	年 1世帯あたり 140円
改・現	改	現行どおり	現行どおり

表2. 申告書の証明範囲

学 童	治療状況	現 行	改 訂
	PTA	通 院	1カ月未満
入院・通院		治療証明書	1カ月未満
PTA	通 院	15日未満	改訂なし
	入院・通院	治療証明書	改訂なし

※ 改訂期間についてはI型加入を基準としているので、加入型により期間が異なる。

安全互助会
みんな加入を!!

福島県PTA安全互助会は、今年で十一年目を迎えることになる。お蔭様で、毎年加入率も上昇し、本年度は県下小・中学校六〇〇校が加入し、七五%に達した。この普及率の増加に伴い、当然の事ながら、見舞金支給申請件数も増え、現在、一三五〇件を越え、前年度より、二〇〇件も事故件数が増えている現状、会員の安全意識を増々高めていきたいものである。学童の場合、本会に加入することによって、学校管理下においては、学校健康会で、管理下外においては、当互助会で補償されるといふ、二四時間安心して活動できるこ

また、PTA会員には、安心してそれぞれの活動に積極的に参加してもらうために、小額の掛金で、多額の補償を得られる制度である。

来年度より新たに内容の充実されたコースが加わり、ますます、学童の健全育成のため、また、PTA活動の充実のため、Pに推進していくよう、皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

- 県連P 総会 六月三日(月)
- 日P大会横浜大会 八月二十九日(木)
- 東北P大会上山大会 九月十三日(金)

事務局長より

昭和六十年、既に期日が決定されているPTA行事は、次のとおりです。

学校行事等の計画に予定しておいて下さい。

十月十一日(金) 〇 県P大会二本松大会

〇 十月十二日(土)

編集後記

本年最後の会報第19号をお届けする。この会報発行でいちばん苦労するのは、原稿依頼先との連絡がなかなかとれず、期日までに原稿が集まらないことである。このため、地区P会長さん、単P会長さん、小中学校長先生、事務担当の先生へと、県連P事務局と連携をとりながら、電話することになる。電話も一度ですむことはまれで多い時は五・六度。そのうち日数も過ぎ去っていく。しかし、今回はスムーズに原稿が集まり予定どおりの発行にこぎつけた。玉稿をいただいた方々に改めて深く感謝する。寒さもうすらいき、春の気配もそこはかと感じられるこのごろ、県下各地に風邪が猛威をふるっている。ご健康に気をつけて、いっそうPTA活動にご精進を。

昭和60年度互助会規約一部改訂される!!

去る昭和五十九年九月、県PTA安全互助会に関するアンケート調査(加入校二〇〇校、未加入校一〇〇校)を実施したがその中で、時代に対応する補償額増を計つてほしいとの要望もあり、過日県連P理事、各郡市連P事務局長合同会議において、次のように一部規約

を改訂することに決まった。(詳細は「加入のおすすめ」及び「事務取り扱い」参照)

△一部改定内容▽

一、保険金(補償額)の支払い額と会費について表1のとおり。

二、事務取扱いについて申告書の証明範囲申告書により治療証明書(診断書)にかえることのできる期間について表2のとおり。

昭和三十九年交通安全福島県スローガン

「わたしから 実行します 交通安全」

昭和59年度県PTA安全互助会加入状況(60.1.31現在)

地区	小 中 学 校 別					
	小 学 校		中 学 校		合 計	
	加入単P数	加入率	加入単P数	加入率	加入単P数	加入率
福 島	46 (14)	95.8%	18	78.2%	64 (14)	90.1%
遼 南	14 (1)	100.0	3	100.0	17 (1)	100.0
伊 達	28 (9)	93.3	7	100.0	35 (9)	94.6
安 達	24 (7)	72.7	6	50.0	30 (7)	66.7
郡 山	44 (2)	75.9	11	45.8	55 (2)	67.1
岩 瀬	19 (3)	79.2	9	69.2	28 (3)	75.7
石 川	26 (8)	100.0	6	75.0	32 (8)	94.1
田 村	33 (6)	86.8	12	70.6	45 (6)	81.8
西白河	23 (7)	85.0	10	76.9	33 (7)	82.5
東白川	14 (2)	63.6	1	25.0	15 (2)	57.5
若 松	12	75.0	6	66.7	18	72.0
北会津	15 (1)	93.8	4	66.7	19 (1)	86.4
西 沼	14 (4)	77.8	2	20.0	16 (4)	57.1
大 沼	10 (1)	100.0	4	100.0	14 (1)	100.0
耶 麻	24 (1)	72.7	11	61.1	35 (1)	68.6
南会津	19	100.0	11	100.0	30	100.0
いわき	30 (9)	41.1	10	23.8	40	34.8
双 葉	19 (5)	100.0	11	100.0	30	100.0
相 馬	30 (16)	93.8	14	100.0	44	95.7
合 計	444 (96)	79.9	156	62.7	600 (96)	74.5

〇 県P大会二本松大会

〇 十月十一日(金)

〇 十月十二日(土)